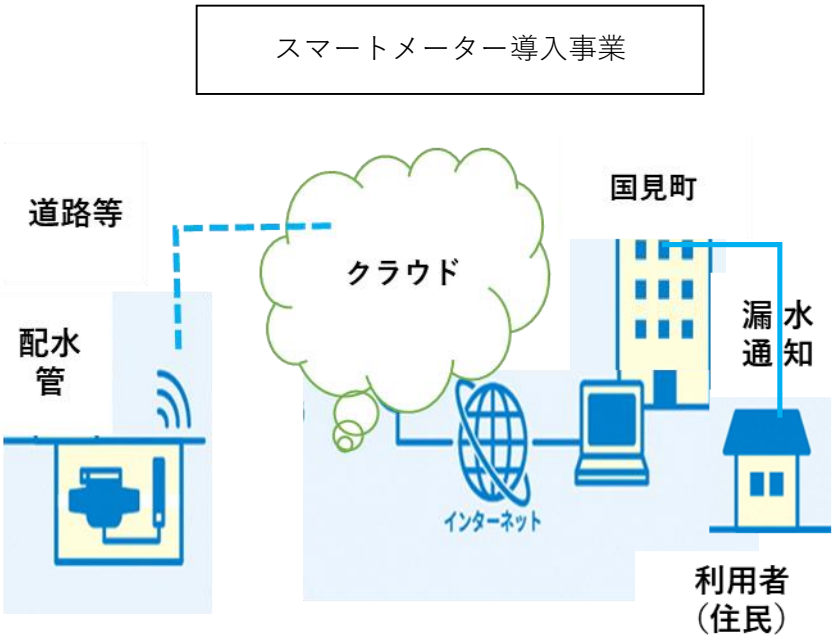


実施年度	令和6年度	類型	TYPE 1	事業費	26,568千円
事業概要	<p>水道水の安定供給に係る課題の一つに施設の老朽化に伴う漏水への対策がある。この課題解決のために、水道本管（配水管）にスマートメーターを設置・導入することで、漏水の早期発見や修繕対応の効率化を行うことができる。水道事業では、人口減少に伴う料金収入の減少で今後ますます経営が厳しくなることから、本事業で費用の低減を図り、災害時においても断水することなく安定的な水道水を住民に供給することが可能となる。</p>				
具体サービス	<p>【水道スマートメーター導入事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各配水区域の水道本管（基幹部）にスマートメーターを設置する。 現場に行くことなく遠隔で異常水量を把握することにより、配水区域ごとの漏水を早期に把握する。 道路等で漏水を発見した後は、町が早急に修理対応することで、各家庭の水圧低下を防止する。 各家庭の宅地内で漏水していた場合は、対象世帯に連絡し、修繕を促すことで水圧の低下と水道料金の軽減化を図る。 <p>（設置箇所数）</p> <ul style="list-style-type: none"> 既設配水管 21箇所 新設配水管 9箇所 		 <p>The diagram illustrates the smart meter introduction project. On the left, a water pipe labeled '道路等' (Roads etc.) contains a '配水管' (Water pipe) with a smart meter. A dashed line connects the meter to a central 'クラウド' (Cloud) icon. Below the cloud is a globe labeled 'インターネット' (Internet). On the right, a building labeled '国見町' (Kunimi Town) is connected to a house labeled '利用者 (住民)' (Users (Residents)). A line from the house indicates a '漏水知' (Leakage notice).</p>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①漏水発見件数の増加</p>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①宅地内漏水のお知らせ件数の増加 ②異常発生時の対応までの時間短縮 ③漏水時断水件数の減少 ④有収率の改善</p>		

【水道施設遠方監視システム整備事業】

実施年度	令和6年度	類型	TYPE 1	事業費	39,600千円
------	-------	----	--------	-----	----------

事業概要

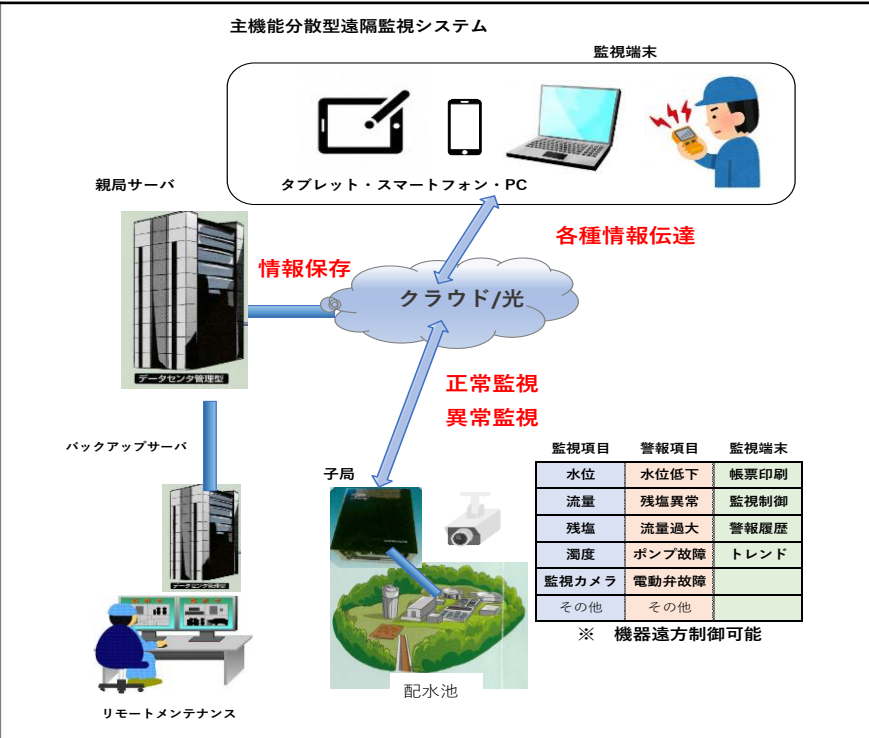
人口減少による収入の減少や多額の更新費用がかかることから、水道施設は今後ますます老朽化が進むことが想定される。そのため、施設の稼働状況や配水量等を夜間、休日問わず常時把握するシステムを早期整備する必要がある。そこで、クラウドサービスも含めた新たな水道施設遠方監視システムを導入することにより、災害時等においてもスマートフォンやタブレット等（以下「IT機器」という）により庁舎内外問わず施設の監視を可能とし、地域住民へ安心安全な「水」を供給する。

【水道施設遠方監視システム】

- ・現地に行かなくてもIT機器から水道施設の稼働状況を確認
- ・非常通報システムによる迅速な状況の把握
- ・I P - V P Nによるセキュリティ体制の強化

（新サービス）

- ・クラウドサーバーを実装することによる庁舎内外を問わない施設監視とサーバーに不具合が生じた際のリモートメンテナンス対応
- ・IT機器によるシステムの常時監視と水道施設の不具合発生時におけるIT機器への警報機能追加
- ・自己水源施設における残留塩素の濃度表示画面追加と塩素注入機の状態確認（異常時警報）



主な KPI

【アウトプット指標（活動指標）】

①施設異常通知数

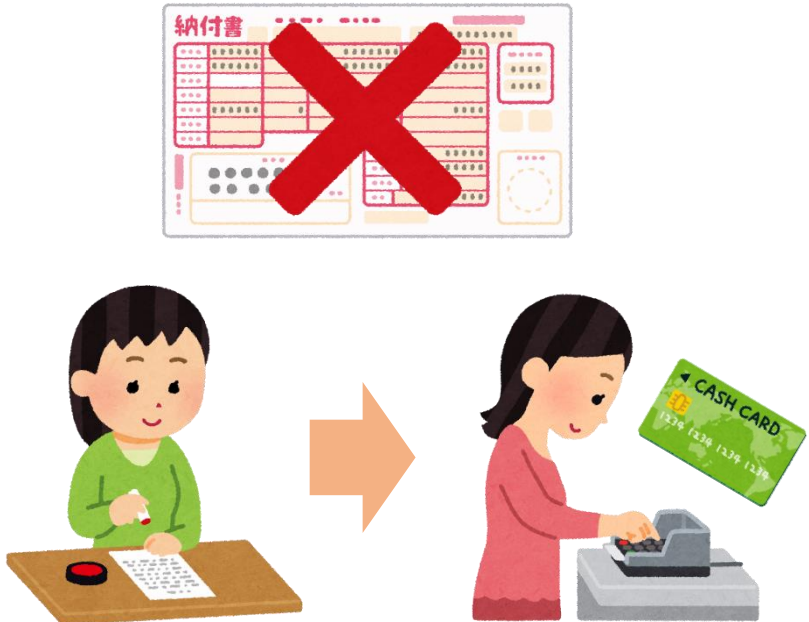
【アウトカム指標（成果指標）】

①異常発生時の対応までの時間短縮


②漏水時断水件数の減少

③有収率の改善

【脱納付書推進事業】

実施年度	令和6年度	類型	TYPE 1	事業費	1,126千円
事業概要	<p>町税等の口座振替依頼手続きにあたり、煩雑な書類記入や押印を省略することで、説明に要する時間や記載不備等があった場合の連絡事務、修正のための再来庁といった双方負担を解消し、身近な窓口手続からデジタル化の利便性を享受することでオンライン申請やキャッシュレス決済導入時に円滑な浸透の一助とするもの。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【ページー口座振替受付サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口座振替依頼手続きが、専用受付端末へ金融機関のキャッシュカードを挿入して暗証番号を入力することで手続完了となるもの。 ・来庁時に金融機関のキャッシュカードを携帯しているだけで、口座振替依頼書を記入して町や金融機関へ再度出向いて提出する手間がなくなる。 ・煩雑な口座振替依頼書の記入や届出印の押印も不要となることで、記載不備や届出印鑑の相異を防ぎつつ口座登録受付結果がその場で判明するため短時間で済むことができる。 ・町税等の納付を口座振替とすることで、高齢者も払込に都度出向くことがなく、納付書の削減やうっかりの納め忘れ防止が期待できる。 				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①新規口座振替依頼件数 ②口座振替率（口座振替件数/賦課件数） 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①サービス利用の満足度（利用者・職員） ②取り扱い可能な納付金の種類（税目・料金の数） 		

【「書かない窓口」システム構築事業】

実施年度	令和6年度	類型	TYPE 1	事業費	9,595千円
事業概要	<p>本町の高齢化率は、2022年（令和4年）43.6%と高く、75歳以上の割合がその約半数を占めている。高齢者が多く、窓口の手続きにおいて、申請書等への記載が困難な町民が増えており、証明書等の発行手続きが円滑に進まない状況も多くみられる。よって、マイナンバーカード等を活用した「書かない窓口」の仕組みを取り入れ、住所等の記載を省略し、申請者の利便性向上を図ることを目的に申請書作成を省力化するシステムを構築する。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【基本情報の申請書への印字サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要とする申請書をタブレット画面上から選ぶ。 ・マイナンバーカード等により顔認証することで、窓口の申請者を特定。 ・申請者の基本情報を申請書に印字する。 <p>【「書かない窓口システム」】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル顔認証システム ・タブレットPC ・プリンター 	<p>タブレット端末</p> <p>顔認証カードリーダー</p>  <p>印字された申請書</p>			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①「書かない窓口」の処理割合</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①窓口サービスの満足度（申請者・職員）</p> <p>②窓口応答の満足度（職員）</p> <p>③「書かない窓口」利用時の窓口応答短縮時間</p>			